

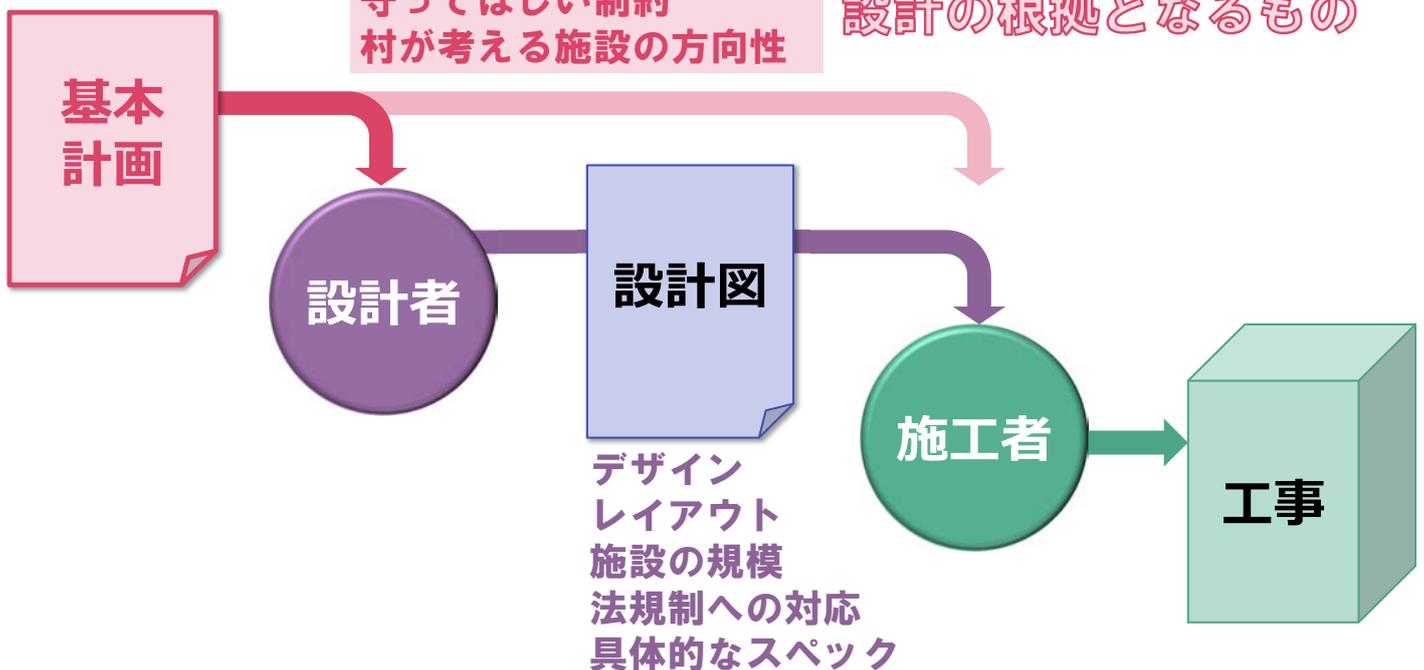
丹波山村役場 建替え計画 基本計画の説明

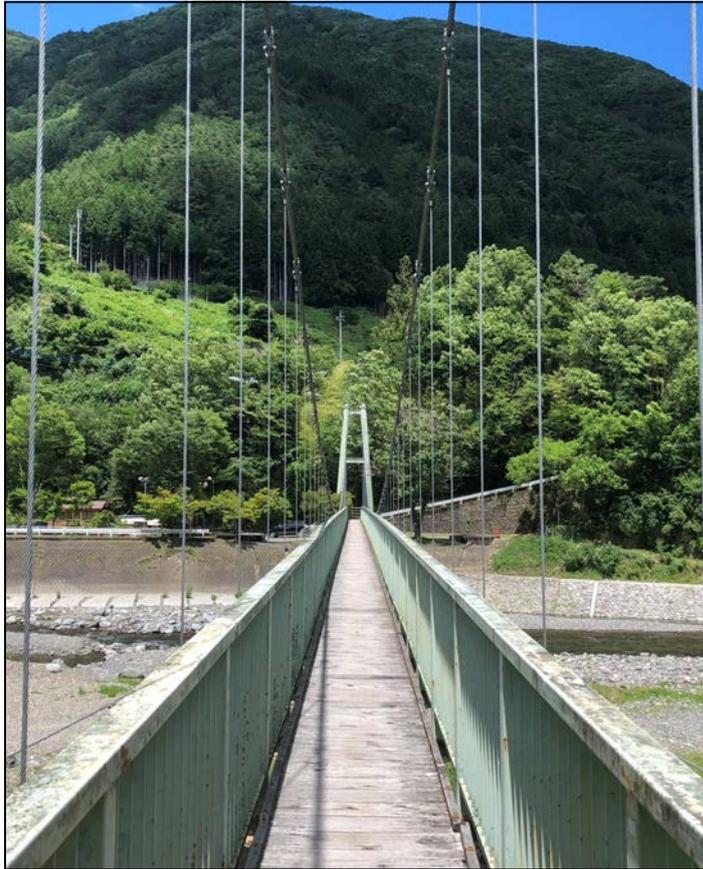
村民の皆様へ
令和2年3月

基本計画とは

村が必要と考えること
守ってほしい制約
村が考える施設の方向性

を設計者・施工者に伝え
設計の根拠となるもの





村役場の建替えについて

- 村役場の現状について
- これまでの検討経緯
- 新しい村役場
- 費用とスケジュール



村役場の 現状について

村役場の現状について



現在の村役場は
昭和46年（1971年）
4月23日に
竣工しました

5

村役場の現状について

昭和46年（1971年）49年前
ヒット曲

順位	曲名	歌手	売上枚数
1位	わたしの城下町	小柳ルミ子	110.3万
2位	知床旅情	加藤登紀子	102.8万
3位	また逢う日まで	尾崎紀世彦	92.8万
4位	傷だらけの人生	鶴田浩二	77.9万
5位	ナオミの夢	ヘドバとダビデ	66.6万

6

村役場の現状について

旧耐震基準（1981年以前）
により設計されています。

耐震診断の結果、
耐震性の不足が
明らかになりました。



平成28年（2016年）熊本地震
被害を受けた宇土市庁舎

村役場の現状について

築49年を経て

- ・ 時代の変化
- ・ 技術の変化
- ・ 制度の変化
- ・ 村の変化により

必要な働きと建物が
一致しなくなってきました



雨漏りや外壁の劣化など
建物の老朽化が進んでいます

バリアフリーのための
エレベーターや
各階のトイレなど
求められる機能が不足しています

足りないもの		蒙御免 <small>丹波山村 総合戦略検討委員会</small>	無くてもよいもの	
横綱	エレベーターと バリアフリー		横綱	専用の村議会室
大関	各階の男女トイレ		大関	雨漏り
関脇	使いやすい受付カウンター		関脇	物置となっている 廊下・階段
小結	フライバシーに配慮した 相談コーナーと会議室		小結	上足履き替えエリア
前頭	安全な情報システム		前頭	雑然とした掲示物
前頭	十分な倉庫・収納		前頭	会議室に置かれた書類など
前頭	冷房設備		前頭	古い机レイアウト



これまでの 検討経緯

11

これまでの検討経緯

平成25年度

「**丹波山村庁舎整備基金の設置及び処分に関する条例**」
を制定しました。

平成26年度

耐震診断を実施、「**耐震性能は低いランクであり、震度6強以上の地震の震動及び衝撃に対して、倒壊又は崩壊する危険性があり、補強が必要**」と判断しました。

12

これまでの検討経緯

平成26年7月

議会、消防団、区長、村民代表による「**新庁舎建設検討委員会**」が設置され、慎重な意見はあったものの、**建替えを概ね前向きに進めるべきとの方向性が示されました。**

平成30年

3月村議会定例会にて村長は、平成30年度から**新庁舎建設に向けて取り組むことを表明しました。**4月、平成30年第2回丹波山村議会臨時会にて「**丹波山村庁舎建設特別委員会**」が設置されました。

13

これまでの検討経緯

平成30年6月

役場内の「**丹波山村総合戦略検討委員会**」は、「**丹波山村役場新庁舎建設基本構想**」を策定、**建替えの基本的な考え方をまとめました。**

村議会より丹波地区の宿への移転による建替えを求める意見書が提出され、**宿への移転案をが全会一致で採択されました。**



東京五輪・パラリンピック
萩原選手と一緒に、旗を振ったよ！

3月15日（金）、東京2020五輪・パラリンピックの大会旗を披露するフラッグアークが丹波中学校で開かれました。
シドニー五輪旗担当女子代表の萩原智子さん（甲野市出身）が来村し、丹波山・小菅岡村の小中学生とゲームをしてふれあい、互輪の魅力をスポーツの素晴らしさを語りました。

主なもくじ

平成31年度予算	2～3
村長施政方針	4～7
入学式・入庁式	8～9
村議会9月臨時会	12
新村議会議員・地区役員	13
新しい村民のご紹介	14
新年度の行政組織図	15
卒業式・消防団任命式	16

人口と世帯（5月1日現在）人口 567 世帯 200 女 277 世帯 304 088-1888888

14

新村役場建設の基本理念

これまでの検討経緯

村民が安全で安心して暮らしていくために、
村の拠点として親しまれ、
誰もが、いつでも、気持ちよく過ごせる庁舎
を目指して、次のとおり基本理念を定めます。

心豊かに、安心して暮らすため
未来に引き継ぐ新庁舎

15

基本方針

これまでの検討経緯

1 心づかいが感じられる 村民の拠り所である庁舎

ユニバーサルデザインを取り入れ、年齢、性別、障がいの有無などにかかわらず、みんなにやさしく、イベントや様々な活動など村民が気軽に集える、「村民の拠り所となる庁舎」を目指します。

2 防災の拠点・避難所も兼ねた 強靱な庁舎

災害の発生時に庁舎内にいる来庁者と職員の安全を確保しつつ、「村の防災拠点施設としての機能を果たし、避難所も兼ねた、強靱な庁舎」を目指します。

3 機能的で働きやすい庁舎

村の業務は多岐にわたることから、それぞれの働き方に合わせ、執務に集中するための工夫を施し、効率的な働き方ができる「働きやすい庁舎」を目指します。

4 環境への気づかいのある 維持管理しやすい庁舎

村や県内の木材を積極的に使用し、地球環境への負荷を低減するための節電対策を心がけ、大切に使い続けられる、「維持管理しやすい庁舎」を目指します。

16



新しい 村役場の 計画

17

基本計画の方針

- 村の投資事業としての機会を最大限生かす
- 無駄のない予算を大切に使うコンパクトな計画
- 今のニーズと、未来（次世代）のニーズに応える
- 単体の建物だけでなく、村全体で考える

18

村役場の立地



村の賑わいの
中心となる
宿地区

青梅街道の
北側に計画します

村内の
さまざまな施設を
結びつけます

村役場の立地



現時点での
村役場予定地

村役場の立地



他の村営・村有施設
との一体的な運用
も視野に入れます

土砂災害への対応

計画地は **急傾斜地警戒区域** および**急傾斜地特別警戒区域** に一部該当しています
法令に従い、建物が **急傾斜地特別警戒区域** にあたらないよう計画します



未来をつくる村役場を目指します

議会
各種手続きの窓口
村民からの相談対応
税金関連
行政事務
事故・災害への対応



議会・行政からの
基本サービス

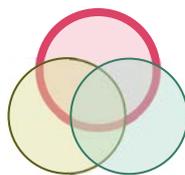
さまざまな
公共サービス
社会サービス

村民どうし
村民と行政が
一体となった
むらづくり拠点

全国にある
今までの村役場

未来をつくる
村役場

来庁者にも職員にも使いやすく、快適な村役場



ベースとなる庁舎機能については、小さな村ならではの特徴を活かし、従来の発想にとらわれない親しみやすい空間を整備します。

▲イメージ：
例えば、座って相談できるカフェのような役場窓口の実現

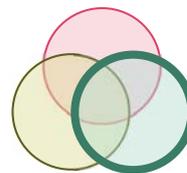
公共サービスの複合化機能を持つ庁舎



村役場内に公共サービス機能を少しでも複合化さ、少ない費用でバラエティに富んだサービス提供を目指します。

▲イメージ：
例えば、子供から大人まで利用できる情報図書館機能の設置

むらづくり、未来戦略の視点をもつ庁舎



村の未来戦略の実現に向けて、村民の力を活かし、来村者にも村の魅力を伝える場所として、村役場を位置づけます。利便施設についても、段階的を導入に進めていけるよう検討します。

▲イメージ：
例えば、村民が野菜などを持ち寄る物々交換マルシェの運営

村の小中学生からの意見も反映します

小中学生からの 意見をもらいました

**放課後ワークショップ開催
～村の未来について語ろう～**

丹波山村では現在、村の振興みや老朽化している施設の改善を促すべく検討を行っています。令和時代に突入し行政に求められることも多様化しています。

そこで、村民の皆さんから様々な意見を聞かせていただき、役場をきっかけとしたまちづくりを進めていきたいと思っております。

まず第1弾として、これからの村を担う小中学生の皆さんと一緒にワークショップを開催します。当日は教員を志す武蔵大学のゼミの学生と交流しながら、村の良いところ、リソースの取柄など、いろいろな可能性を探求してみたいと思います。是非、保護者の方にも参加していただき、「みらいのたばやまむら」について語りましょう！

*小中学生、保護者の方などなくても参加できます。お気軽にご参加ください。

日時：令和元年8月23日（金）
午後3時30分～5時

場所：丹波山村交流センター

今、話題の丹波山村のバスキーサービスや水すべりカーの体験もぜひ、お楽しみください。



令和元年8月23日（金）に、丹波山村の小中学生に集まっていたいただき、「村の未来を考えるワークショップ」を開催しました。

小中学生の意見「自然と賑わいの共存」を大切にします

丹波山村の魅力

自然

公共
施設

観光

人

遊び

食

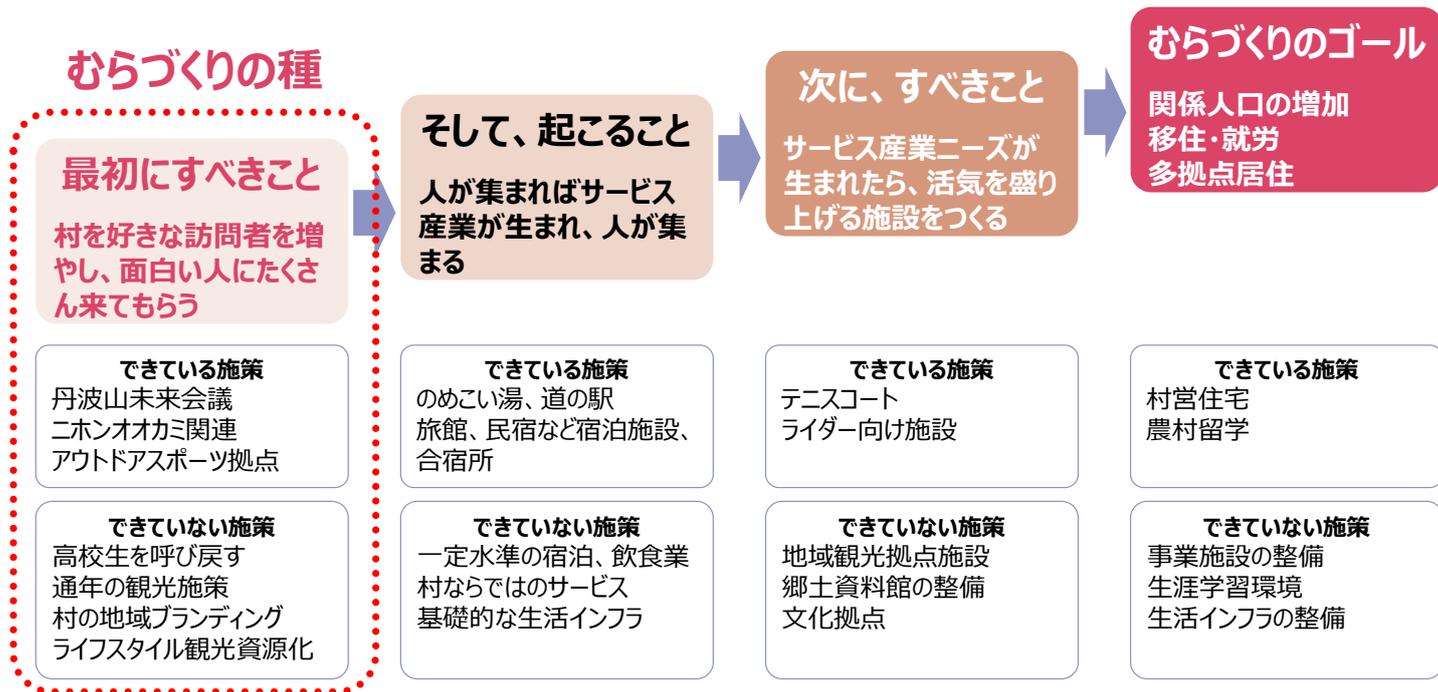
伝統

丹波山村の未来

自然と賑わいの共存



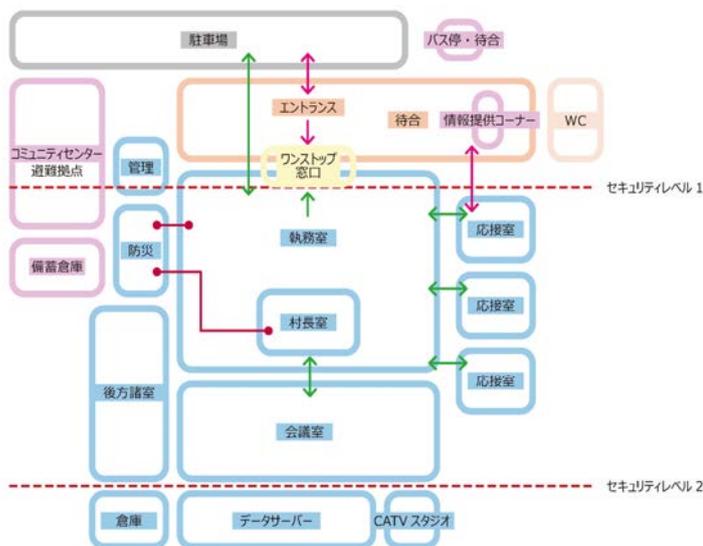
未来に向けた「むらづくりの種」をまくための村役場



「丹波山村らしい」景観をつくる村役場を目指します



村役場の機能



1 階部分

- ・村民の利用の多い、窓口機能と執務室を配置します。
- ・執務室との日常的な連携が必要な機能、諸室を配置します。

2 階部分

- ・会議室などの共用的な機能、直接的な役場業務以外の機能を配置します。
- ・議会機能を担う大会議室などを配置します。
- ・受付を通らないで、外部から直接出入りできる動線の整備など、休日や時間外などの多様な村民ニーズに応えられるよう検討します。

機能相関図

機能の考え方を整理し、
これをもとに設計者の提案を募ります

村役場の機能

総務省の地方債同意等基準運用要綱（H30）による算定式
標準面積：入居職員数（38名で想定）×35.3㎡ = 1,341㎡

「移転前面積：現庁舎の床面積1,538㎡

■ 基本計画における規模想定

基本構想における想定規模を踏襲しつつ、
空間の共有及び多目的利用などの工夫により効率的な空間利用を図ること
で新庁舎に求められる機能を確保する

面積約1,500㎡を上限として、1,100㎡を目標にコンパクト化を図る



費用と スケジュール

事業予算

建築・設備等工事費(消費税10%含む)	6.0億 円
用地費	0.5億 円
その他(調査、企画費)	1.5億 円
予備費(10%)	0.8億 円
総額	8.8億 円

その他(上記以外の必要費用)

(消費税10%含む)

FFE(家具・什器・備品)	30 百万円
各種のプロジェクト管理費	8 百万円

関連事業費(想定)

(消費税10%含む)

情報系機器移設関連・セキュリティ関連	200 百万円
--------------------	---------

スケジュール



- ・令和2年度4月に設計・施工者選定プロポーザルの公告を予定しています。
- ・3か月の選定期間を経て、7月より設計に着手します。
- ・工事期間は、令和3年度4月から3月の12か月を想定。
- ・令和4年度4月からの入居開始を予定しています。
- ・プロポーザル応募企業の提案、例えば、構造体を木造とするのか鉄骨造とするのか、工業化工法を導入するのかなどにより、設計、工事期間は多少伸縮する可能性があります。